

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立野田中学校

令和 8 年 4 月

大阪市立野田中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 昨年度末の長期欠席(30 日以上)生徒は 37 名(在籍は 345 名)である。不登校生徒については、その要因が様々であり、個々の状況を適切に把握することが重要である。いじめ不登校対策委員会を定期的を開催することにより、情報共有を行い、組織的・計画的に個々に応じた支援策を検討し、学校に登校するという結果を目的とするのではなく、社会的自立に向けた支援につなげる必要がある。引き続き、スクールカウンセラーや関係諸機関と連携し不登校生徒の減少に向けた取り組みを進める。
- 生徒の授業態度を含む学校環境は、落ち着いている。しかしながら生徒間の SNS への書き込み等によるトラブルが散見され、昨年度のいじめ事案もゼロというわけではなかった。月 1 回行っている「いじめアンケート」や「相談申告機能」等を活用した情報収集により、早期発見・早期解決に努めている。また生徒に対して「いじめ(いのち)について考える日」をきっかけにして、あらためていじめについて考えることを促し、いじめ防止に向けた継続的な指導に取り組むとともに、スクールカウンセラーや関係諸機関と連携をすることにより安全安心な学校づくりに取り組んでいく。
- 学力については、ICT の活用、休業期間やテスト前の補習、反復学習の強化をおこなってきたものの全国学力・学習状況調査やチャレンジテストにおいて、平均正答率に達しないことがある。それでも多くの教科で無回答率が平均よりも低く、最後まであきらめず真摯に取り組む姿勢については身についているように考えられる。これからの時代を担っていくために必要な資質・能力を身につけるために、学力向上委員会を中心に方策を検討し、さらなる指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
- 3 年間で系統立てて「キャリア教育」に取り組んでいる。1 年時に地域や企業と連携して「課題解決学習」に、2 年時には職場体験に取り組み、3 年時の「進路学習」につなげている。受動的に情報を受け取るだけでなく、主体的に行動できる人材育成に努めている。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】 目標数値は中期目標例を参考に設定**

- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 89%以上にする。
(R7 年度 87.6%)
- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「自分には、よいところがありますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 87%以上にする。
(R7 年度 85.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 88%以上にする。

(R7 年度 86.7%)

○令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 86%以上にする。

(R7 年度 84.8%)

【学びを支える教育環境の充実】

○時間外勤務時間数が月 100 時間を超える教員を毎年ゼロにする。

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。」に対して、「読書を全くしない」と回答する生徒の割合を 40%以下にする。

(R7 年度 43.8%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 89%以上にする。(R7 88.6%)
- 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。(R7 79.4%)
- 令和 8 年度の校内調査において「自分が、少しでも何かの役に立っていると感じるときはありますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 74%以上にする。(R7 校内調査 72.0%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。(R7 校内調査 87.8%)
- 年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。(R 7 校内調査 84.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 8 年度、時間外勤務時間数が月 100 時間を超える教員をゼロにする。
- 年度目標アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 63%以上にする。(R7 61.3%)
- 年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立野田中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 ○年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 89%以上にする。(R7 校内調査 88.6%) ○年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を○%以上にする。(R7 年度 87.6%) ○令和 8 年度の校内調査において「自分が、少しでも何かの役に立っていると感じるときはありますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 74%以上にする。(R7 校内調査 72.0%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 ○いじめをはじめとした様々な事案に対して、子どもに寄り添う指導を行い生徒理解に努める。各生徒の状況を共通理解し、きめ細かく速やかな対策を講じる。	
指標 ・1 か月に 1 回、いじめアンケートを実施する。 ・相談申告機能を活用し、情報の収集に努める。 ・毎月いじめ・不登校対策委員会を実施し、いじめや不登校生の状況を全教職員で共有する。いじめ事案の発生時には随時委員会を招集し、対策を講じる。	
取組内容②【基本的な方向 1、安全で安心な教育環境の実現】 ○不登校者数の改善に向け、生徒の状況把握に努めながら、個々に応じた対応に取り組む、新たな不登校生を未然に防ぐ。	
指標 ・各学期に 1 回ずつ教育相談期間を設ける。 ・毎月いじめ・不登校対策委員会を実施し、不登校生の状況を全教職員で共有する。	
取組内容③【基本的な方向 1、安全で安心な教育環境の実現】 ○地震や火災等の発生時に自分で危機を回避するため主体的に行動するとともに、自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりに貢献できる生徒を育成する。	
指標 ・防災・減災教育の一環として、年 2 回以上防災教育を実施し、うち 1 回は地域と連携したものとする。	
取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 ○人権課題に対する正しい理解と認識を深め、日常生活の中で自他の生命と尊厳を互いに尊重し合う態度を育むため、年間指導計画に基づいた学年ごとの取り組み、地域・保護者と連携した取り組みを推進する。	
指標 ・年間指導計画に基づき、各学年の状況に応じて行う人権教育に関する取り組みを年間 3 回以上実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立野田中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。(R7 校内調査 87.8%) ○年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。(R7 校内調査 84.5%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 ○基礎・基本的学力の定着をめざした学習活動に取り組む。	
指標 ・習熟度加配がある教科において、ティームティーチングを週 1 度以上行い、どの生徒も取り残さない取り組みをおこなう。また授業時間を各教科標準授業時数以上に確保し、基礎・基本的学力の定着をめざす。	
取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 ○ブロック化による学校支援事業による自主学習用ノートの活用。元気アップ事業と連携し定期テスト前の放課後学習会を開催する。	
指標 ・年度末の校内調査において「家で勉強していますか(宿題や復習、予習など)。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 78%以上にする。(R7 76.8%) ・年度末の校内調査において「毎日の家庭学習が習慣になっていますか。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 59%とする。(R7 57.9%)	
取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 ○健康な生活を、生涯を通じて送ることができるよう健康教育の推進に努める。基本的な生活習慣の確立をめざし、健康保持増進の意識を高める。また衛生面や身だしなみなど自己管理できる意識を高める取り組みを継続する。	
指標 ・毎月食育だよりやほけんだよりを発行し、基本的な生活習慣の定着や、健康教育を推進する。また委員会活動を通して、身だしなみを整えるなどの自己管理意識を高める取り組みを継続する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立野田中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ○令和 8 年度、時間外勤務時間数が月 100 時間を超える教員をゼロにする。 ○年度目標アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 63%以上にする。 (R7 校内調査 61.3%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○業務内容を精選し、効率化を図ることで、勤務時間の縮減に努める。学校閉庁日やゆとりの日の設定を継続実施する。	
指標 ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1(基準 2)を満たす教員の割合を、令和 8 年度末に (基準 1 56.4%・基準 2 84.9%)にする。(R7 基準 1 33.33% 基準 2 80.0%)	
取組内容②【基本的な方向 8、生涯学習の支援】 ○生徒が、生涯を通していつでも自由に学習機会を選択することができるよう環境を整備していく。	
指標 ・令和 7 年度末の校内調査において、「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 63%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	